

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者（児）移動支援事業			事業番号	011-146
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉サービス課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
		第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画					
3	事業開始年度		平成 18 年度		点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		障害者総合支援法第77条、堺市障害者移動支援費の支給等に関する要綱、堺市重度訪問介護利用者等大学修学支援事業実施要綱				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁、各区				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		身体障害者（全身性障害者）・知的障害者・精神障害者・障害児			対象数	単位
					5,619 (R5.2月現在)	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		社会参加・余暇活動を支援することで、地域で生活することを支援する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		移動支援事業：屋外での移動が困難な方に対してガイドヘルパーが付き添いを行うことにより、外出の際の移動を支援する。利用料については、一定の時間数までは無料、それを超える分については30分当たり80円。 大学修学支援事業：重度障害者が修学するために必要な支援体制を大学が構築できるまでの間において、重度障害者に対して修学に必要な身体介護等を提供し、もって障害者の社会参加を促進する。利用料については30分当たり80円、医療的ケアに係る支援については30分あたり519円。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など						
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	障害者児の社会生活上必要不可欠な外出支援及び余暇活動等社会参加の促進					
	当該目標を設定した理由		本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。			
		目標に対する実績		延べ利用人数27,775人（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）		
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標
				令和3年度	令和4年度	令和5年度
	サービス利用時間		目標値	—		—
			実績値	385,108		413,718
達成率			—		—	
当該指標を選定した理由		事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。				
目標値の設定根拠・算出方法		サービス利用時間（目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。）				

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者（児）移動支援事業	事業番号	011-146
-------	--------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	855,027	832,166	930,065	891,291	975,480
13 財源内訳					
国支出金	532,739	504,257	465,032	490,627	487,740
府支出金	265,711	250,085	232,516	245,313	243,870
市債			0		0
その他 ( )			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	56,577	77,824	232,517	155,351	243,870
14 人件費 (b)	12,360	12,360	12,660	12,660	12,680
15 年間経費(c)=(a)+(b)	867,387	844,526	942,725	903,951	988,160

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		事業費	うち一般財源				事業費	うち一般財源		
16 事業費内訳	障害者（児）移動支援事業(扶助費)	R4	決算	891,291	155,351		R4	決算		
		R5	予算	975,480	243,870		R5	予算		
		R4	決算				R4	決算		
		R5	予算				R5	予算		
		R4	決算				R4	決算		
		R5	予算				R5	予算		
		R4	決算				R4	決算		
		R5	予算				R5	予算		
		R4	決算				R4	決算		
		R5	予算				R5	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① サービス利用時間	時間	385,108	413,718
② 上記①にかかる年間経費	千円	844,526	903,951
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,193	2,185
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 単独で外出することが困難な障害者（児）に対する社会生活上必要不可欠な社会参加のための支援であり、外出困難な障害者（児）の移動の確保に繋がっていることを考慮すると費用については妥当であると考えている。なお令和4年度はサービス提供人数についてコロナ禍の収束に伴い増加しており、事業費や利用時間増による事業費増が見られる。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 本事業は、単独で外出することが困難な障害者（児）に対する社会生活上必要不可欠な社会参加のための支援であり、障害者（児）の社会参加の促進に寄与するものと考えている。